

ふれあいネットワーク

やまなしの福祉

3 No.334
2017
月号



表紙写真：「こども食堂」で食事を楽しむ家族
(関連記事p4をご覧ください)

特集

支える・支え合う

- P2 障害者のカーライフを支える
- P4 地域で支え合う「こども食堂」
- P7 各種貸付金のお知らせ
- P8 家計相談会の開催
介護支援専門員実務研修受講試験の結果
- P9 社協ボランティア情報コーナー
- P10 福祉用具紹介／貸し出し図書紹介

好きな車を福祉車両に!

障害者の カーライフを 支える



上杉隆昭社長と福祉車両のBMWミニ

株式会社 ファイブスター

ファイブスター(甲府市徳行4丁目、上杉隆昭社長)では、福祉先進国であるスウェーデンのメーカー「オートアダプト」の日本輸入元と代理店契約を締結。障害を持つ方が今乗っている自動車や好きな自動車をその方のニーズに合わせた福祉車両に改造するサービスを行っています。

必要な装備を最短5日に取り付け

取り付けることができる部品は、車いすでの乗降をサポートする運転席、助手席のどちらにも設置できる回転シート、車いすを吊り上げて後部座席に収納する小型クレーン、後部ドアのスライドドア化、手でアクセルやブレーキを操作できる装置などさまざま。日本の福祉車両は「車種が限られた

り、必要がない装置が付いていたり、納車までに時間がかかる」との声もありますが、同社では障害の種類、程度によって必要なものだけを付けることがポイント。事前の打ち合わせを行っていれば、実際の作業は最短で5営業日で完了する早さも魅力的です。

輸入車にも国産車にも対応

このサービスを始めたのは、社長の上杉さんの父親が事故で体が不自由になったことがきっかけでした。上杉さんはグループ会社で輸入車のBMWミニを販売しており、母親が長年BMWミニを愛用していました。母親から「乗り慣れた愛車のBMWミニに父親を乗せたい」と、相談を受け、福祉車両に改造した時の母親の本当に嬉しそうな顔を見て、このサービスを始めようと思ったと言います。

2014年11月からサービスを始め、BMWミニはもちろん、国産車の改造も多く手掛けてきました。新車の福祉車両に買い替えるのに比べて費用が抑えられ、何ととっても好きな車に乗ることができるということで喜ばれています。



福祉車両のBMWミニ

また、部品が不要になった場合は、元の状態に戻すことも可能。また、車を買替えた時に、その車に乗せ替えることも可能です。



- ①BMWミニの後部ドアをスライドドアに改造しています。車いすを乗せるのにも便利です。
- ②運転の楽しみを味わうことができるように手でアクセルやブレーキを操作できる装置
- ③BMWミニの助手席に設置された回転シート。回転シートは運転席にも取り付けられます。
- ④トランクへの車いすの収納に便利な小型クレーンを取り付けています。

障害に関係なく 好きな車で外出を

上杉さんは「好きな車を福祉車両にすることは特別なことではありません。車を好きな人がタイヤやホイールを替えてカスタマイズして自分の好みの車に仕上げるように、障害を持つ方が自分の障害や好みに合ったカスタマイズをすることは同じなのだと思います」と話します。

さらに「車選びは人生の楽しみの一つ。障害に関係なく、自分の好きな車で外出を楽しんでほしい」と話し、障害を持つ方の自分に合ったカーライフをこれからも支えていきたいです。



上杉 隆昭(うえすぎ・たかあき) 社長

〈問い合わせ〉

株式会社 ファイブスター福祉車両事業部
電話 055-234-5853
(もしくはMINI甲府055-236-3252まで)

子どもたちに団らんを届ける 「こども食堂」

富士吉田市の
リトル
ロボット

子どもたちに栄養バランスがとれた楽しい食の機会を提供しようという「こども食堂」。山梨県内でも各地で開かれています。富士吉田市下吉田3丁目のコミュニティーカフェ「LITTLE ROBOT(リトルロボット)」が毎月1回開いている「こども食堂」は、参加している親子の絆や親同士、子ども同士のふれ合いが深まり、地域コミュニティーの場へと発展しています。

子どもたちや家族連れが訪れる

富士吉田市の中心商店街を通る富士みち(国道139号線)沿いにある「リトルロボット」。2月6日午後5時を過ぎると、「こんにちは」と、子どもたちや親子連れが次々と集まってきました。「いらっしやい」。スタッフが笑顔で迎えます。富士北麓の寒さが厳しい外とはうって替わって、店内にはペレットストーブが焚かれて薄着でも十分な暖かさです。カレーの香ばしいにおいが店いっぱいに漂って食欲を刺激します。毎月第1月曜日に開かれている「こども食堂」が始まりました。

この日のメニューは、カレー、サラダ、ピクルス、から揚げなど。栄養バランスを考えながら、子どもたちの好きなメニューを取り入れています。また、子ども食堂に賛同している農家などから提供を受けた食材を活用しています。料理は大皿に

盛り付けられ、子どもたちはビュッフェ形式で小皿にとって皆で食事を楽しみます。



こども食堂

子どもや親などを対象に、安い価格や無料で食事を提供する民間の取り組み。子どもたちの健やかな成長を願い、地域で支えていきたいと考える人たちが、定期的に食事を提供しています。

貧しくて食事がなかったり、親が多忙で食事の準備ができず、1人でコンビニ弁当を食べているような子どもたちを主な対象としていますが、そういった状況ではなくても、子どもでも大人でも、だれでも参加できます。山梨県内では、甲府市や富士吉田市、南アルプス市などで開設されています。



富士吉田市の「リトルロボット」のように、地域コミュニティーの場としての役割を担う例も出ています。

ただ、食堂の運営には食材費、光熱費もかかり、寄付のほか運営者の負担で成り立っている部分も大きいのが現状です。地域の人たちには子どもの生活に関心を持って、できる範囲で支援をしていくことが求められています。

多い日には80人以上も

2015年10月にスタートして1年半。口コミで広がり、今では富士吉田市内を中心に多くの子どもたちや家族連れが訪れています。少ない時でも40人。80人以上集まったこともあります。この日、子ども2人と一緒に来た夫婦の夫は「妻が何度か来て“子どもたちも大喜びしている”と言っていたので私も来ました。食事もおいしいし、子どもたちが他の子どもたちと一緒に楽しそうにしているのがいいですね」と笑顔を見せていました。

また、別の夫婦は「妻が3人の子どもの食事を作るのが精一杯で、自分は台所でつまんで食事を済ますようなことが多く、なかなかゆっくり子どもたちと食事することができませんでした。ここでは、子どもたちの笑顔を見て会話

をしながら食事ができます」と話していました。

食堂の奥には、子どもたち専用の部屋もあって、子どもたちが一緒に食事をしています。6歳の男の子は「ご飯もおいしくて楽しいよ。友達もいっぱいできた」と、うれしそうに話してくれました。また小学生の女の子は、小さな



女の子の面倒を見ながら食事をしていました。

こども食堂の料金は子ども100円、大人300円。

問い合わせはリトルロボット 電話0555(68)9009



昔は当たり前だった 地域みんなでの子育てや介護を 今の形でデザインしたい

「リトルロボット」で「こども食堂」を運営している滝口伸一さんに、始めたきっかけや「こども食堂」への思い、今後の課題などについて伺いました。

Q 「こども食堂」を始めたきっかけは？

テレビで最初に始めた他県の「こども食堂」の例を見たことがきっかけです。この地域にもそうした状況があると知ったので何かしなくては、と思いました。新たに始めるとなると、飲食店の設備など必要ですが、すでにこの店を始めていたので、ここ

でやってみようと思いました。

最初は貧困家庭や栄養バランスのよくない子を対象にと思って始めたのですが、実際に始めてみると、誰がそういった子なのか分かりませんし、直接声をかけるのも難しい。基本的に子どもでも大人で



滝口 伸一(たきぐち・しんいち)さん
(株)滝口建築代表取締役、
インテリアコーディネーター、
「LITTLE ROBOT」代表

も、だれでも参加できるようにしました。

来た方にアンケートをとると、収入に問題のない家庭でも「夫が出張が多く、いつも娘と2人だけの食事で寂しい。ここに来てみたらにぎやかで楽しい」という声もありました。子どもも楽しく遊んでいますし、おじいさん、おばあさんが来たりもします。ママさんたちの料理の休日であったり、交流の場だったりしています。こうした利用も大切だと思います。

ここでは「認知症カフェ」を健康科学大の学生たちの提案で、毎月第2木曜日午後2時から開いています。3月からは東京のNPO団体に来てもらって

「ぱぱとままになるまえに」という若い方を対象にした取り組みも始めます。定期的に開催して最終的にはそれぞれを関連させていきたい。子どもさん、親御さん、お年寄りがリンクしていく場をつくっていただけたいと思います。地域のいろんな人が混じり合える場になればと思います。そこから、さらに新しいことが生み出せたらと思います。世代間で若いママさんが抱えている悩みを高齢の方が話を聞いたりとか、昔は当たり前だった、近所の方も一緒になってみんなで子育てしたり、介護をしたりすることを、今の時代に合わせてもう一回デザインしたいなと思います。



運営はどのようにされているのでしょうか？

店単独の経営状況はきびしいですが、母体である工務店の一事業として運営しています。工務店としては箱(家)づくりがメインですが、例えばすてきな家、キッチンを作っても、そこで出来合いの食事ばかり食べていたり、コミュニケーションがなか

ったり、現代の問題がたくさんあると感じます。地元の工務店として「ただ箱(家)を作っているだけではダメだな」と、痛感しています。この店舗が暮らし方というものを、みんなで考えていく場となれば。住宅というのは暮らしを創る基本だと思います。



今後の課題は？

最初のころは、近所の子どもが中心でしたが、子どもたちのネットワークでだんだん広がってきました。大人も含めてリピーターが増えてきました。このスタイルも継続していきますが、原点にもどって本当に困っている子どもたちもいるわけで、そ

うした子どもたちにアプローチをしたいと考えています。ただ、うちだけでは限界がありますので他団体や児童養護施設、児童相談所などとも連携していきたいと考えています。



「こども食堂」への関心が高まっていますが、始める方へのアドバイスがあれば？

やるほうも楽しくないと続きません。まず、自分の居場所を作って、そこに仲間が集まってきてくれるのがいいですね。「子どものためのこども食堂」というネーミングですが、いろんな世代のいろんな人が自分の居場所として居心地のいい場所を作って無理しないでやっていくこと、自分たちのためがいいのかなという気がします。

実際にやるとなると、場所は？飲食店としての許

可は？などの課題も出てきます。富士吉田市では、吉田のうどん屋さんがいっぱいあります。座敷もあるし、メインは昼食で夜は空いています。そうしたうどん屋さんが「こども食堂」を始めてくれたら、すごい街になります。子どもたちは遠くには行けないので、こども食堂を開ける場所や環境があるのなら各地で始めてくれたらと思います。

介護の仕事に再就職する方を応援!

介護人材再就職準備金をお貸しします。

この事業は、介護職として一定の知識及び経験を有する離職中の方を対象に、県内で再就職するために必要となる再就職準備金を貸し付け、潜在的介護人材の確保、就業促進を図ることを目的とするものです。

●貸付の対象者(次のすべてを満たす者)

- (1)山梨県内に住所を有する者で、介護事業所を離職した介護職員のうち、介護職員等として実務経験を1年以上有する者。
- (2)次のいずれかに該当する者
 - ①介護福祉士
 - ②介護福祉士実務者研修修了者
 - ③介護職員初任者研修修了者
(介護職員基礎研修・ヘルパー1級・ヘルパー2級を含む)
- (3)介護人材の確保・育成に努めていると知事が認める事業所又は施設に介護職員等として就労した者。

- (4)直近の介護職等として離職した日から原則として30日以上が経過しており、介護職員等として再就労する日までの間に、予め山梨県福祉人材センターに届出・登録を行った者。

●貸付額 20万円以内(1人当たり1回限り)

●返還の免除

介護職員等として就労した日から、山梨県内の介護事業所・施設に介護職員等として2年間引き続きその業務に従事した場合は、返還が免除されます。(ただし、未就労、他産業への転職、自己都合等で退職した場合は、貸付金を返還していただくことになります。)

貸付には審査が必要になります。詳細についてはお問い合わせください。

【お問い合わせ先】 山梨県福祉人材センター TEL:055-254-8654

児童養護施設等入所者 自立支援資金貸付事業

山梨県内の里親委託者及び、児童養護施設等の入所者の退所後の自立を支援します。

●対象者

里親委託者、児童養護施設等入所中の者及び退所者

●貸付金額

①進学者

家賃支援費：一カ月当たりの家賃額
生活支援費：月5万円以内

②就職者：一カ月当たりの家賃額

③資格取得希望者：資格取得に必要な費用の実費(上限25万円)(進学者・入所者)

●返還の免除

就職後、5年間就業(資格取得支援費については、2年間就業)した場合、全額を返還免除します。

ひとり親家庭 高等職業訓練促進資金貸付

「高等職業訓練促進給付金」を受給するひとり親家庭の親を対象に養成機関の入学準備金や就職準備金の貸付を行い、自立促進を支援します。

●貸付対象者

高等職業訓練促進給付金の受給者(平成29年度4月以降に養成機関に入学した人、又は平成29年3月以降に養成機関を卒業し資格を取得した人。)

●貸付金額

入学準備金：50万円 就職準備金：20万円

●返還の免除

養成機関を修了し、山梨県内において取得した資格が必要な業務に5年間従事した場合、全額を返還免除します。

【お問い合わせ先】 社会福祉法人山梨県社会福祉協議会 生活支援課 TEL:055-254-8610

県社協の生活困窮者自立支援事業

家計相談会を開催しています

山梨県社会福祉協議会では、平成28年度から生活困窮者自立支援事業の任意事業として家計相談支援事業を始めました。平成28年10月4日(火)に第1回家計相談会を市川三郷社会福祉協議会六郷支所で開催しました。

家計相談会を開催する目的は、より身近な地域で開催することにより、住民の皆さまの利便性をはかり、家計相談希望者のニーズを掘り起こし、適切な支援の機会をつくるためです。

相談は町村の社会福祉協議会や行政機関が生活困窮の状況下で、家計相談支援を必要と判断し、その対象者自らも家計相談を希望した方を対象に行います。今回は2件の相談がありました。家計相談支援員が時間をかけてお話をお聴きし、助言することで、表情が明るくなって帰る相談者の姿もありました。



第1回家計相談会

Q 県社協の生活困窮者自立支援事業とは？

A 生活での困りごとや不安、様々な問題を抱えている方に寄り添い、その方に寄り添ったプランを作成し、県社協の支援員が他の専門機関と連携して、解決に向けた支援を行う事業です。

Q 家計相談支援事業とは？

A 自立支援事業の対象者で、家計管理の支援によって生活の再建が認められる方を対象とします。家計相談支援員が相談者にあったプランを作成するとともに、専門的な助言や指導を行う事業です。



「介護支援専門員実務研修受講試験」の結果

平成28年10月2日(日)、全国一斉に介護支援専門員実務研修受講試験が実施されました。本県では山梨学院大学を会場に828人が受験し、合格者は106人、合格率は12.8%でした。(保有資格別合格者数は表1参照)

これは介護支援専門員(ケアマネジャー)として登録するために必要な「実務研修」の受講者を定めるための試験で、合格者は12月～3月までの間、講義と演習(15日間)を受講し、また2種類の実習を行うことになっています。

研修の全課程を修了し、県から介護支援専門員証の交付を受けた者が介護支援専門員としての業務をすることができます。

介護支援専門員は、「介護保険法において、要支援・要介護認定者およびその家族からの相談を受け、介護サービスの給付計画(ケアプラン)を作成し、他の介護サービス事業者との連絡、調整等を行う者」となっています。

合格者(研修修了者)の今後の活躍を期待します。

山梨県の保有資格別合格者数(表1)

資格	合格者数*	合格率
保健師	5	4.3%
看護師	8	6.8%
准看護師	2	1.7%
理学療法士	2	1.7%
作業療法士	3	2.6%
社会福祉士	13	11.1%
介護福祉士	62	53.0%
はり師	1	0.9%
きゅう師	1	0.9%
歯科衛生士	3	2.6%
精神保健福祉士	2	1.7%
相談援助従事者	6	5.1%
介護従事者	9	7.7%
のべ総数	117	100.0%

*複数の法定資格を有する合格者がいるため計が異なります。



大月市ボランティアセンターは、ボランティアを必要としている方の味方です。「ボランティア活動」にかかわるすべての人とのつながりが「パワー」となり、大月市ボランティアセンターを動かしています。「ボランティアセンターに来てよかった」と思ってもらえる出会いを作っていきたいです。

大月市ボランティアセンター

《ボランティア相談》

「(ちょっとした)困ったな」があった時、思い出してもらえる存在のひとつでありたいと思っています。要望にお応えできるかどうかも含めますが、ぜひご相談ください。

ボランティアの手を必要としている方、ボランティア活動をしたい方との「つながり」作りをお手伝いします。

《ボランティア・ボランティアグループとの協働》

ボランティア養成講座・フォローアップ講座の実施だけでなく、機材や活動場所の貸し出し、情報提供



グリーン活動に参加された皆さん

など、ボランティア活動を多方面から応援します！
「コレしてみたい」という希望があれば、ある時はいっしょに活動し、またある時は紹介をさせていただき、活動するボランティアの方のニーズにぴったり寄り添います。

《今までの実施講座》

レクリエーションボランティア養成講座・傾聴ボランティア養成講座・災害ボランティア養成講座・手話奉仕員養成講座・手話奉仕員フォローアップ講座・調理ボランティア講座・点字ボランティア講座・朗読ボランティア講座・環境戦隊グリーンレンジャーJr,など

毎年、地域の皆様のいろんな声を頂きながら事業展開をしています。「する」「される」の関係から『ともに楽しく生きていく』そんな関係を作っていきたいと思ひます。皆様の声を大月市ボランティアセンターまでお届けください。お待ちしております。



夏のレクリエーション講座

大月市ボランティアセンター
 住所：大月市大月町花咲10番地 (大月市総合福祉センター1階)
 業務時間：月曜日～金曜日 午前8時30分～午後5時30分
 TEL：0554-23-2001
 FAX：0554-22-2861
<http://www.otsuki-shakyo.jp/>

Goods

福祉用具紹介 あると便利なグッズたち

薬の飲み忘れ・飲み過ぎ・飲み間違いを予防

服薬支援ロボ®

■ 価格 120,000円(税別)

ピルケースに1回分の薬を入れてカセットに収納し、服薬時間をセットして使います。薬の時間になると音声案内と画面表示で知らせてくれるので、飲み忘れを防ぎ、決められた時間に薬が飲めます。また、セットした薬だけが出てくるため、薬の飲み間違いを予防。1つのカセットに7個のピルケースを収納し、ロボット本体にはカセットを4つセットできるため、1日4回までの薬を1週間分(1日2回の場合は2週間分、1日1回の場合は4週間分)収納することが可能です。

慢性疾患の薬を常用している高齢者の方、薬の管理を自身で行うが飲み忘れ・飲み過ぎ・飲み間違いのリスクがある方、もしくは服薬管理を行う介護者の方などに。利用者の服薬支援だけでなく、介護者の負担も軽減します。



- 簡単な操作のタッチパネルや、難聴の方でも聞こえる大音量設定など、高齢者や介護が必要な方にやさしい造りです。また、取り出しボタンはあえて光らせず、認知症の方を不安にさせない配慮がされています。服薬履歴をデータ管理することも可能。USBで最大4週間分管理できます。
- ピルケースは半透明にして中の薬が見やすくなっています。また、朝、昼、夜、寝前の時間帯によって色分けし、お薬をセットする時に間違えにくいようになっています。
- カセットは、ピルケースと色を揃えお薬のセットをする時に間違えにくい工夫がされています。さらに、ピルケースを入れる時に違う色が入らないように、色ごとに異なる形になっています。



Check Point

居宅療養管理指導の介護保険サービス利用者は、薬局が自宅へ機器をレンタルし、セットした薬を配達してくれます。

※地域によっては利用できない場合があります。

貸し出し 図書紹介

現場でよくある22事例 認知症・超高齢者の 看取りケア実践

著者 島田 千穂・伊藤 美緒

企画 日総研グループ

発行所 日総研出版

〒453-0017 名古屋市中村区則武本通1-38

日総研お客様センター電話番号 0120-057671

ホームページ <http://www.nissoken.com/book/1796/index.html>



認知症・超高齢者の看取りケアにおける、様々な状況でのケアスキル・組織体制・職員間のコミュニケーション等のポイントを解説し、より良いケアを実践する際の“考えるヒント”になるようにまとめてあります。

看取りケア、そしてそこに至るまでのケアの重要性についてケア実践の一助となる内容となっています。

このほかにも介護・看護・福祉についての本(約300冊)やビデオ・DVD(約200本)を貸し出しております。詳しくは県立介護実習普及センターにお問い合わせください。☎055-254-8680



社会福祉施設総合損害補償

しせつの損害補償

◆加入対象は、社協の会員である社会福祉法人等が運営する社会福祉施設です。

プラン 1 施設業務の補償 (賠償責任保険、動産総合保険)

① 基本補償(賠償・見舞費用)

保険期間 1年

▶補償金額			
	基本補償(A型)	見舞費用付補償(B型)	
賠償事故に対応	対人賠償(1名・1事故)	2億円・10億円	2億円・10億円
	対物賠償(1事故)	2,000万円	2,000万円
	受託・管理財物賠償(期間中)	200万円	200万円
	うち現金補償限度額(期間中)	20万円	20万円
	人格権侵害(期間中)	1,000万円	1,000万円
	身体・財物の損壊を伴わない経済的損失(期間中)	1,000万円	1,000万円
お見舞い等の各種費用	事故対応特別費用(期間中)	500万円	500万円
	被害者対応費用(1名につき)	死亡 10万円 後遺障害 0.3~10万円 入院時 3万円 通院時 1万円 (1事故で10万円限度)	死亡 10万円 後遺障害 0.3~10万円 入院時 3万円 通院時 1万円 (1事故で10万円限度)
	傷害見舞費用		死亡時 100万円 入院時 1.5~7万円 通院時 1~3.5万円

▶年額保険料(掛金)	
定員	基本補償(A型)
1~50名	35,000~61,460円
51~100名	68,270~97,000円
以降1名~10名増ごと	1,500円

基本補償(A型) 保険料	+	【見舞費用加算】 定員1名あたり 入所: 1,300円 通所: 1,390円
--------------	---	-------------------------------------------------

- オプション1 ● 訪問・相談等サービス補償
- オプション2 ● 施設の医療事故補償
- オプション3 ● 借用不動産賠償事故補償

② 個人情報漏えい対応補償 ③ 施設の什器・備品損害補償

プラン 2 施設利用者の補償 (普通傷害保険)

① 入所型施設利用者の傷害事故補償 ② 通所型施設利用者の傷害事故補償

(10口まで加入できます)

保険期間 1年職種別A級

▶補償金額	
	1口あたりの補償額
死亡保険金	100万円
後遺障害保険金	程度に応じて死亡保険金額の4~100%
入院保険金(1日あたり)	800円
手術保険金	入院中の手術: 入院保険金日額の10倍 外来の手術: 入院保険金日額の5倍
通院保険金(1日あたり)	500円

▶年額保険料(掛金)	
	定員1人1口あたり
①入所型施設利用者	1,310円
②通所型施設利用者	990円

③ 施設送迎車搭乗中の傷害事故補償
施設送迎車に搭乗中のケガに対し、プラン2-①、②の傷害保険や自動車保険などとは関係なく補償

プラン 3 施設職員の補償 (労働災害総合保険、普通傷害保険、約定履行費用保険)

② 施設職員の傷害事故補償

(10口まで加入できます)

保険期間 1年職種別A級

▶補償金額	
	1口あたりの補償額
死亡保険金	140万円
後遺障害保険金	程度に応じて死亡保険金額の4~100%
入院保険金(1日あたり)	1,500円
手術保険金	入院中の手術: 入院保険金日額の10倍 外来の手術: 入院保険金日額の5倍
通院保険金(1日あたり)	600円

▶年額保険料(掛金)	
	定員1人1口あたり
施設役員・職員の 1名1口あたり	3円(1日あたり) 780円(年間: 週5勤務の場合)

- ① 施設職員の労災上乗せ補償
- オプション新設: 使用者賠償責任補償
- ③ 施設職員の感染症罹患事故補償

プラン 4 社会福祉法人役員の補償 (賠償責任保険)

新設 社会福祉法人役員の賠償責任補償

保険期間 1年

▶補償金額			
賠償責任	A型	B型	C型
	5,000万円	1億円	3億円

●この保険は全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約(「賠償責任保険」「普通傷害保険」「労働災害総合保険」「約定履行費用保険」「動産総合保険」)です。

●このご案内は概要を説明したものです。詳しい内容のお問い合わせは下記までお願いします。●

団体契約者 **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**
 (引受幹事 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部 第三課 保険会社)
 TEL: 03(3593)6824
 受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、12/31~1/3を除きます。)

取扱代理店 **株式会社 福祉保険サービス**
 〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
 TEL: 03(3581)4667 FAX: 03(3581)4763



善意をありがとう

車いすの寄贈

山梨トヨタ会(山梨トヨタ自動車と社員でつくる会)様は、毎年社会貢献活動の一環として県内医療機関に車いす5台を寄贈しています。車いすは、同社社員や家族が空き缶を収集して換金した収益と同社からの寄付金を合わせて購入しています。平成28年度は、山梨トヨタ自動車様が創立70周年であることから車いす70台の寄贈を計画し、山梨県社会福祉協議会が仲介役となり県内の医療機関に寄贈することになりました。12月14日に山梨トヨタ自動車本社会議室にて贈呈式を行い、山梨大学医学部附属病院をはじめ18の病院へ寄贈させていただきました。



食料品の寄贈

JA共済連山梨(鷹野武本部長)様より、JA職員が持ち寄った生活物資(食料品等)の寄贈をいただき、12月22日(木)県福祉プラザにて贈呈式を行いました。寄贈は6年連続、11回目です。生活物資はNPO法人フードバンク山梨に贈られ、山梨県内の生活困窮者の支援に活用されます。



JA共済連山梨の中込和也副本部長(右)

使用済み切手の寄贈

山梨中央銀行職員組合(新津智委員長)様から、使用済み切手9.2kgを寄贈していただきました。毎年寄贈していただき、今年で19回目となりました。使用済み切手は、切手収集家や収集業者の間で取引が行われ、その収益は発展途上国の生活改善のための支援物資を送る送料として役立てられます。



山梨中央銀行職員組合の新津智委員長(右)

山梨ともしび基金へのご寄付

「山梨ともしび基金」に対し、山梨県労働者福祉協会(渡辺一彦会長)様並びに、連合山梨(中澤晴親会長)様より、ご寄付をいただきました。山梨県労働者福祉協会様は30年連続、また連合山梨様は21年連続のご寄付となります。寄付金は、民間福祉活動の助成を行う当基金で活用させていただきます。



山梨県労働者福祉協会の渡辺一彦会長(右)



連合山梨の中澤晴親会長(右)

福祉のおしごと マッチングカフェ

採用予定のある事業所と、お仕事を探しているあなたをつなぐ、個別面接・相談会を行います!

- ・3月 1日(水) 医療法人 健栄会
介護老人保健施設 大津ケアセンター
- ・3月 8日(水) 株式会社ユニマツリティアメント・コミュニティ
南甲府ケアセンターそよ風
- ・3月15日(水) 新日本通産株式会社
ケアステーション新日本
- ・3月22日(水) 株式会社上機嫌
ハイブリッドホーム上機嫌
- ・3月29日(水) 株式会社やさしい手甲府

時 間 14:00~16:00

会 場 山梨県福祉人材センター

詳しくは、お電話にてお問い合わせください。

お問い合わせ 福祉人材センター ☎055-254-8654

広報誌「やまなしの福祉」を
パソコンやタブレットで閲覧

広報誌「やまなしの福祉」は、本会ホームページでPDF版の閲覧ができるほか、電子ブックでもご覧になれます。

ホームページ <http://www.y-fukushi.or.jp>

3月号は
以下の通りです。

3月号のID
yfukushi334

Android用



iOS用



※パスワードは必要ありません

幼稚園 福祉施設等でも活躍!
ウイルスによる食中毒の対策に!

柿渋パワー製剤
アルタンノロエース
2012.9 特許取得

食品や調理器具をはじめ、施設内の人が手をふれる場所全ての衛生管理に

アルタン 検索

現場の声をカタチに...いつもアルタンから。
アルタン株式会社
東京都大田区東糀谷 3-11-10 TEL 03-3743-5705

広島大学との共同研究で開発されたエタノール製剤・食品添加物です。